

印西市第2次基本計画

～現在の策定状況と今後の予定～

2025.7.30

INDEX

- これまでの策定状況について
 - ― 市民ニーズの把握・基礎調査及び分析
 - ― 市の課題
 - ― 人口推計
- 今後の予定について

これまでの策定状況について

市民ニーズの把握・基礎調査及び分析

●市民ニーズの把握

- －市民会議・中学生会議
- －若者向け・市外在住者向け・転出入者向けアンケート調査

●基礎調査及び分析

- －市の現状や特性等の整理と分析
- －市の人口や世帯数等の推移の整理と今後の推計
- －現行基本計画・総合戦略の検証
- －各課で策定している計画等の整理と分析
- －国や県の関連計画等の整理と分析
- －社会経済動向の整理と今後5年間の推測

これまでの策定状況について

市の課題（主なもの）

- 人口の地区ごとの偏在、若者世代の流出、人口減少への対応 ※詳しくは「人口推計」にて
- 若者が希望する就職先・転職先がない
- 若者が趣味等を楽しめる環境がない
- 激甚化・頻発化する自然災害への対応
- 今後増加していく高齢者ニーズへの対応
- 大規模校と小規模校における教育環境の改善・適正化
- 農業従事者の減少
- 交通不便地域への対応
- 道路、施設などの公共施設の更新費用の増大
- 複雑多様化する行政ニーズに対応する人材の確保

これまでの策定状況について

人口推計

前提条件・推計方法

- ・基準人口：令和7年9月30日現在の人口見込（住民基本台帳ベース）
- ・将来の生残率・純移動率・子ども女性比・0-4歳性比：「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所、以下「社人研」という。）より印西市仮定値を引用
- ・独自設定条件：純移動率の調整・連たん制度による開発 ※詳しくは、後述
- ・推計期間：2065年まで
- ・推計方法：コーホート要因法

これまでの策定状況について

人口推計

前提条件・推計方法

～ 独自設定条件：純移動率の調整～

- －社人研の純移動率には直近の大幅な人口増が含まれている
- －今後の推計に直近の大幅な人口増が加味される
- －**将来的に大幅な人口増は見込まれない**

⇒純移動率を調整し、社会動態における人口増加を低減

これまでの策定状況について

人口推計

前提条件・推計方法

～ 連たん制度による開発～

ー純移動率の調整により、これまでの開発状況は加味されず

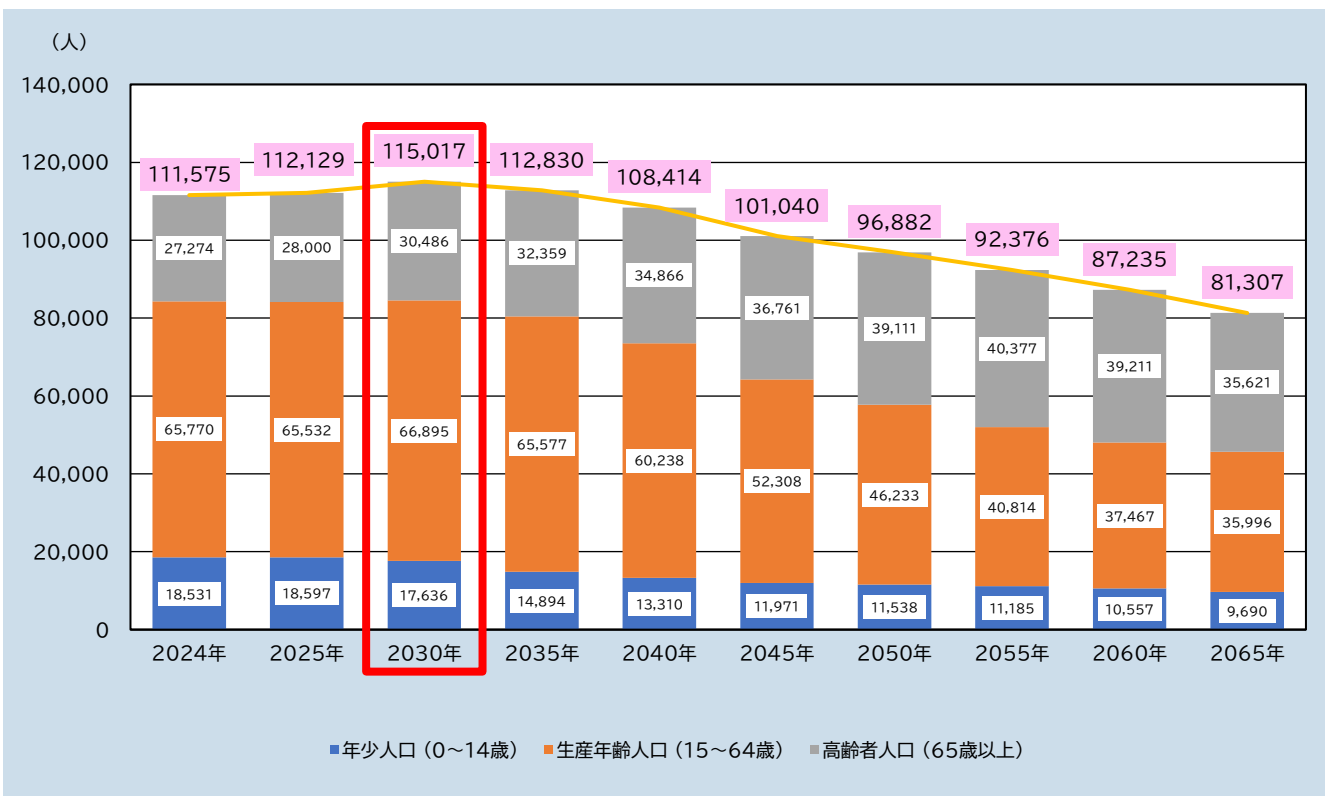
ー直近の開発状況と残されている開発想定エリアの面積から転入数を算出

⇒14年間、毎年790人が転入することを算出し、推計に加味

これまでの策定状況について

人口推計

推計結果



(詳細)

・ピーク人口⇒2030年 115,017人

・10万人下回る⇒2047年

・高齢化率⇒2030年代後半30%超

⇒2040年に32.2%

・総人口減少

⇒2040年から2045年
7,374人の減少が最大

・出生数⇒令和8年以降減少

今後のスケジュール(予定)について

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 令和7年7月 | 第2次基本計画 骨格作成
第6次実施計画の作成 |
| 令和7年8月 | 第2次基本計画 総論及び各施策作成(各課照会) |
| 令和7年9月 | 審議会会議:第2次基本計画(素案)について |
| 令和7年9月 | 本部会議:第2次基本計画(素案)の決定 |
| 令和7年9月 | 市議会:第2次基本計画(素案)説明 |
| 令和7年11月 | 市民説明会・パブリックコメント |
| 令和7年12月 | 審議会会議:パブリックコメントの結果・対応と答申(案)について |
| 令和7年12月 | 本部会議:パブリックコメントの結果・対応 |
| 令和8年1月 | 審議会会議:第2次基本計画について |
| 令和8年1月 | 本部会議:第2次基本計画の決定 |